

令和2年度 第23回「まちづくり会議」概要 尾口地区

日 時：令和2年11月1日（日） 10：00～11：00

場 所：尾口公民館2階 集会室

参加団体等：尾口連合青年団、瀬戸青年団、体育協会尾口支部、一里野観光協会
山ろく地区町会区長会協議会、ボランティアかたくりの会、老人会、女性の会、
子ども会、尾口公民館、白山市町会連合会など

発言【1】

田んぼの耕作放棄地について

- ① 市民提案型まちづくり対策事業補助金制度
- ② その他の整備事業

【市】

① 市民提案型まちづくり支援事業の補助金の額は、市民主体のまちづくりを推進し市民活動団体や地域団体が自主的・主体的に企画実施する公共の利益につながる事業内容についての補助制度でありますので、補助金の性質上、入場料・参加費・売上金および協賛金などの収入がある場合には、補助対象経費の総額から控除されます。

なお、当該補助制度は、令和3年度で終了であり、現在、市内28地区での実施に向けて取り組みをすすめております地域コミュニティ組織の活動費となる（仮称）地域予算制度[一括交付金]に移行し、各地域において、地域課題の解決や地域資源の活用に繋がる取り組みについて活用いただくことを考えております。

② 県営ほ場整備事業で、ほ場（畑地を含む）整備事業の補助メニューに耕作放棄地を解消する事業に該当しますが、採択面積が10ha以上必要であるため、この事業で整備することはできません。

他の事業で整備する際は、農業農村整備事業（団体営事業）農地耕作条件改善事業にて耕作放棄地を含め再整備をすることが可能です。

※ 採択面積要件なし、地元負担金あり

発言【2】

(1)光ケーブルの通信速度のスピードを速くしてほしい

(2)①百四丈の滝のアピールについて

②百四丈の滝をジオパークのホームページに掲載してほしい

【市】

(1)あさがおネットにつきましては、白山ろく情報通信基盤更新工事にて終端装置(D-ONU)の交換工事が終了いたしましたので、1Gbpsプランが新たに設定(契約更新が必要)されております。

(2)①百四丈の滝は約90mの白山で最も落差がある滝であり、見応えがあります。

百四丈の滝へ行くための山道は、白山国立公園内であり、整備するには国との調整が必要です。また、百四丈の滝を下から臨む箇所への近接につきましては、険しい谷を遡上することしか方法がないのが現状です。自然環境保護や地勢的観点、費用対効果などソフト及びハード面においても極めて困難かと考えられます。

白山登山道(加賀禅定道)から望む箇所の環境整備につきましては、一里野から奥長倉避難小屋が石川県、奥長倉避難小屋から七倉山まで環境省が管理を行っており、既に展望台が設定されていることから、他の白山登山道と同様に管理の徹底について引き続き要望してまいります。

②百四丈の滝の情報は、これまで、白山手取川ジオパーク推進協議会の冊子や白山市観光連盟のパンフレットの中で紹介しており、協議会のホームページの更新の際には、百四丈の滝の魅力について掲載いたします。

発言【3】

(1)東二口林道の舗装補修について

(2)俳句ポストと応募作品の添削について

(3)クリーン作戦について

【市】

(1)林道全体で、優先順位を決めて順次補修してまいります。

(2)初心者向けの市民俳句教室を年間10回開催していますので、受講してはいかがでしょうか。教室の内容は、事前に投句いただいた俳句を基に句会を行います。その都度、講師からアドバイスや添削していただける形ですので、個々の上達につながります。

俳句ポスト応募作品の添削につきましては、例えば、添削希望と葉書に明示していただき、それらにのみ、添削できないか市俳句協会の皆さんと今後検討したいと思っております。

(3)クリーン作戦は、松任・美川・鶴来地域において、5月と10月の日曜日に町内会の協力のもと、公園や道路等の公共施設の除草やゴミ拾いなど清掃活動を行っていただいております。市ではその際にゴミ袋の配布と集積ゴミを収集しております。

発言【4】

尾口地区のアピールについて

- ① 子どもにとって良い環境
- ② 山に住むという選択肢

【市】

- ① 白嶺小学校は少人数学級できめ細かい教育や大学と連携したプログラミング教育などの特徴あるカリキュラム、豊かな自然の中で行われる学校行事など、白山ろく地域ならではの教育の魅力を学校のホームページ等で紹介できないか検討してまいります。
- ② 18歳までの子ども医療費の無料化や住宅取得に対する各種定住促進奨励金等により、定住を促し地域の活性化を図ってまいります。

特に白山ろく地域におきましては、平野部より手厚い「白山ろく地域定住促進奨励金事業」や「白山ろく地域高等学校等通学費助成事業」により、白山ろく地域の若者の転出抑制を図り定住人口の増加に努めております。

また、大都市圏で開催する移住フェアや移住セミナーに参加し、白山市の住みよさを全国発信しており、コロナ禍の中、増加している移住相談に対応するためオンライン相談も始めたところです。

今後も、白山市の豊かな自然や住みよさを発信し、移住・定住の促進に努めてまいります。

発言【5】

- (1)東二口文弥人形浄瑠璃の発信について（YouTubeで上映など）
- (2)イベントの減少と若者が参加協力できるイベントの企画について

【市】

(1)東二口文弥まつりの中止を受け、東二口文弥人形浄瑠璃保存会との協議の結果、今年度は、動画撮影及びYouTubeでの配信を検討することといたしました。

また、本市の国際交流員を活用し、白山市の魅力を英語で発信する動画作成（CIRチャンネル）を行っており、これまでにサイクリングロードやパラグライダー、スノースポーツ、ジビエなど特集し、白山市公式チャンネルで公開しております。これらの動画は日本語の字幕が入っており、日本の方にも閲覧していただきたいと思っております。

今後も本市の観光伝統文化等のPRに努めていくとともに、社会情勢に合わせ、伝統文化の保存や支援に柔軟な対応を行ってまいります。

(2)「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「地域コミュニティ組織」の創設を進めております。

若い世代の地域間交流事業について、地域で話し合い、お互いに協力し合える仲間づくりについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つです。

また、白山市青年団協議会の活動に対しての補助もごございます。

市観光連盟が白山開山 1300 年記念事業として始めた、一里野地区のイルミネーション事業は、設置・撤去作業をたくさんのボランティアの方にご協力をいただいております。

今年度は、恋人の聖地としてナイトゴンドラやバレンタイン企画も新たに実施いたしました。

さらに、2022 年には日本ジオパーク全国大会が白山市で開催されます。その際には白山ろくの青年団をはじめとする多くの皆様にご協力を仰ぎたいと考えております。

発言【6】

樹木の伐採の補助について

【市】

4月1日から鳥獣害支障樹木伐採等事業補助金制度を適用する予定でおります。対象者は対象木の所有者または管理する個人で対象木は幹の直径が概ね 20cm 以上のカキ・クリ・クルミ等で、補助金の額は、樹木伐採の場合は経費の 2 分の 1 以内・上限 30,000 円、果樹採取の場合は経費の 2 分の 1 以内・上限 10,000 円となっております。